

101 奥田義人氏帰朝歓迎会

〔『法学新報』第九五号 明治三十二年二月二十日〕

○奥田義人氏観^懇迎会

前号院友動静の欄内に記載したるか如く奥田義人氏は去月十六日無事帰朝せられたるを以て院友有志者相謀り同月三十日午後一時を期し下谷区上野松源楼に会合し同氏を招待して祝宴を開きたり会する者五十六名、花井氏は先づ發起人総代として祝詞を述べ、続いて奥田氏の答辞、龜山氏の演説あり終て酒宴を張り痛飲快談、宴漸く酣にして歌ふ者あり舞ふ者あり各々歡を尽して帰路に就きたるは午後八時過なりし当日の来会者は奥田義人、

今村信行、石渡敏一、石山彌平、馬場愿治、羽生顯親、原嘉道、
花井卓藏、長谷川安民、錦織幹、沼田宇源太、岡村輝彦、大橋
樹太郎、大谷忠四郎、大石恒久、小澤政許、渡邊勘十郎、加納
友之介、川島龜夫、龜山要、米原光太郎、横田千之助、吉野信
三、田上省三、竹井泰治、田中文藏、田中重城、高木金之助、
高野金重、長島鷺太郎、中山佐一、卜部喜太郎、宇賀清、黒須
龍太郎、窪田欽太郎、山浦橋馬、丸岡東治、二神駿吉、小松林
造、兒玉利庸、寺島直、新井要太郎、安藤龜太郎、棚瀬軍之佐、
佐藤博愛、坂本彌一郎、佐藤惣三郎、坂本武治、三宅碩夫、三
浦大之助、鹽谷恒太郎、白井竹次郎、土方寧、肥田平次郎、森
本邦治郎、鈴木濟美の諸氏なり。